

授業シラバス

詳細情報

2011-4010000372-01

科目名「クラス名」(サブタイトル)	期別	単位数	開講年次
特別講義 A (表現する力をきたえるプログラム)	通年	4	3
担当教員 田村 馨、兵士美和子			

概要

皆さんが社会に出てもっとも求められる能力は「表現する力」です。伝えるべきことをちゃんと伝えることが要求されるにもかかわらず、それを教えたり訓練する場は多くありません。本講義ではその機会と場を提供したいと思っています。

だからといって、ノウハウやテクニックそのものを教える講義ではありません。1つには、表現する意欲、欲求や姿勢がない人にノウハウやテクニックを授けても、その人からは他者の共鳴や感動を得る表現は生まれません。2つには、人によって、「何を」「どう」表現したいかは異なるので、身につければ表現する力が増すノウハウやテクニックも人によって違うからです。

本講義は、「表現する力をつけたい、高めたい」と思う学生に対して、「試行錯誤の中から自分の表現力の強みと弱みに気づき、自分なりのスタイルで表現する場所を掴む場と機会を提供する」ものです。特に「書く力をつける」ことで達成度が計れるように設計されています。

予定では講義以外の課外プログラムも提供していきたいと思っています。外部の講師は随時招聘していく予定です。講義は田村と兵士美和子氏(プランニング&コミュニケーションプロデューサー、福岡大学非常勤講師)が担当します。

次の講義の予告を毎回するので関連するサイトや文献を事前に学習し、講義中にお知らせするサイトや文献による事後学習をおすすめします。

到達目標

- ・自分の思いや考えを表現することこそが社会や企業においてもっとも求められているスタンスであることが社会状況、時代の変遷との関係で理解される。
- ・自分の思いや考えを表現することが抵抗なく受け入れられると同時に、自分のスタイルとして身に付く。
- ・自分の思いや考えをロジカルに組み立て伝える力とコツが獲得される。
- ・企業が新卒者に求める対人折衝力が要請され向上する。

成績評価基準および方法

- ・定期試験、課外プログラムへの参加状況(参加実績で評価)、課題提出および発言回数で評価で評価します。
- ・それぞれの割合は50:25:25です。
- ・評価基準は「社会に出ると表現することがなぜ求められるかが説明でき、自分の思いや考えを伝える力をきたえるプログラムに参加し与えられた役割やタスクを果たすことができる」です。

テキスト

使用しません。

参考書

- 情報編集力をつける国語 ISBN 4-480-42371-9
 話すチカラをつくる本 ISBN 4-8379-7626-4
 原稿用紙10枚を書く力 ISBN 4-479-30073-1
 余裕がある方は、加藤典洋「言語表現法講義」岩波書店、バーバラ・ミント「新版考える技術・書く技術」ダイヤモンド社も手にしてください。

履修上の留意点

- ・講義以外のプログラム(昨年度はレゴを使ったプログラム、外部講師の講話、表現する力をきたえる実践としての中学校(梅林中、長尾中、平尾中)・高校(修猷館高校)でのプログラム)への参加は単位取得の要件です。そのため受講生にはタイムマネジメント力が求められます。就職活動やバイト、クラブ・サークル活動をやりながら、巧く時間をやりくりするマネジメント力が鍛えられ、試されます。
- ・ML(メーリングリスト)を活用し諸連絡・課題提出を行いますので、定期的なPCでのメールチェックが必須となります。
- ・講義はワークショップを中心に進めますので積極的な関与が受講生には求められます。
- ・授業開始5分を過ぎての入室を禁じます。

授業計画

1. なぜ表現する力が求められるか?(田村・兵士)
2. 表現するとはどういうこと?(田村・兵士)
3. 自分の表現力を点検してみよう(兵士)
4. 自己紹介力を点検する1(兵士)
5. 自己紹介力を点検する2(兵士)
6. 観察力をきたえる1(読む~見る~発見~気づく)(兵士)
7. 観察力をきたえる2(書く)(兵士)
8. 観察力をきたえる3(構成)(兵士)
9. 発想力をきたえる1(読む~見る~発見~気づく)(兵士)
10. 発想力をきたえる2(書く)(兵士)
11. 発想力をきたえる3(構成)(兵士)
12. 思考力をきたえる1(読む~見る~発見~気づく)(兵士)
13. 思考力をきたえる2(書く)(兵士)
14. 思考力をきたえる3(構成)(兵士)
15. ロジカルライティングで「自分の思いや考え」をあぶりだそう1(田村・兵士)
16. ロジカルライティングで「自分の思いや考え」をあぶりだそう2(田村・兵士)
17. ロジカルライティングで「自分の思いや考え」をあぶりだそう3(田村・兵士)
18. 自分の感覚、感性にきづく1(兵士)
19. 自分の感覚、感性にきづく2(兵士)
20. 自分の感覚、感性をきたえる1(レゴを使うワーク)(田村・兵士)
21. 自分の感覚、感性をきたえる2(レゴを使うワーク)(田村・兵士)
22. 表現力をきたえよう1(ラジオドラマを素材に)(兵士)
23. 表現力をきたえよう2(寸劇をやってみよう)(兵士)
24. 表現力をきたえよう3(物語をつくろう)(兵士)
25. 表現力をきたえよう4(インタビューワーク)(兵士)
26. 表現力をきたえよう5(インタビューワーク)
27. エピソードで自分を語る1(兵士)
28. エピソードで自分を語る2(兵士)
29. 自己紹介文を書いてみよう1(兵士)
30. 自己紹介文を書いてみよう2(兵士)

注: 講義の順番、内容、ゲストは進捗状況や課外プログラムとの関係、ゲストのスケジュールなどで変わってきます。